

原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和7年

12月10日(水)

印西市立原小学校

校長室便り No 9

人権週間の取り組み



12月4日～12月10日は人権週間です。人権とは「すべての人が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」です。

学校では、「自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること」ととらえ、全校で1～3年生は「なかよしカルタ」4～6年生は「人権標語」の作成を行いました。自分自身を見つめ、友だちの良さを認め合うことで、他の人とのより良い関わり方についても考えました。

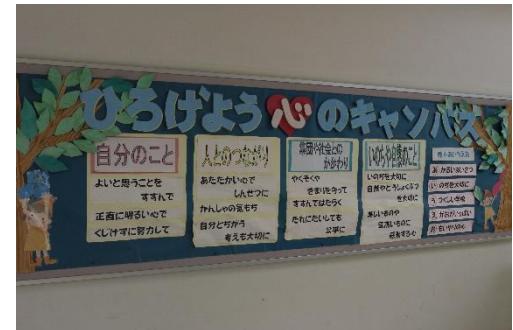
子どもの作品一部を紹介します。(子どもの作品は教室内や廊下に掲示しています。)

1年生 「じぶんのきもちと みんなのきもちを たいせつにする」
「みんながうれしくえがおでにこにこになれば じぶんもうれしい」
「きれいなことばをつかって あいてのきもちをかんがえて せいかつしよう」

2年生 「こえをかけて なかよくなろう」
「おもいやりがあり よく考えて 心がだれ一人きずつかない まいにちをすごす」
「ひとを 見た目で はんだんしない」

3年生 「しってるよ 本当はやさしい 君の事」
「たすけ合い みんな友だち うれしいな」
「ごめんねは とても大事な 言葉だよ」

4年生 「みなさんの かがやく命 たいせつに」
「当たり前 そう思えること しあわせだ」
「みんなの笑顔を大切に 自分の心を大切に」



5年生 「大切な 言葉を使うと 気持ちが軽くなる」
「みんなの勇気は みんなの笑顔に つながっている」
「人権侵害 助ける準備は もうできた？」



6年生 「見えてない 相手の気持ちを 考えて」
「一言で 凶器に変わる その言葉」
「みんな違う その違いこそ たからもの」

※ 紹介した中に特別支援学級の児童の作品も含まれています。